

株式会社鹿島アントラーズ FC のクラブハウス移転検討に係る鹿嶋市の見解について

本日、4月22日、株式会社鹿島アントラーズ FC（以下「クラブ」という。）及び潮来市から、クラブハウスの潮来市内への移転検討に係る公表がありました。

本市はホームタウン5市の中で筆頭の出資自治体として、クラブ創設以来、地域を挙げてクラブの活動を支えてまいりました。そのような長年の関係がありながら、クラブハウスの潮来市内への移転検討に係る公表がされたことに強い憤りを覚えます。

Jリーグのクラブは、地域に支えられて成り立つ存在であり、クラブハウスの立地は、単なる施設配置の問題ではなく、クラブの拠点やホームタウンとの関係そのものに関わる重要な問題です。このため、今回のクラブによる移転検討は、これまで本市との間で築いてきた信頼関係を大きく損なう行為であり、市を挙げて反対するものです。

また、市民一丸となって、クラブを自らのクラブとして支え、共に歩んできた地域の理解を到底得られるものではなく、今後、関係事業への影響を考えざるを得ません。

このため、本市といたしましては、クラブがこれからも地域とともに歩む存在であるのか、それとも地域との関係を変えようとしているのか、本件はその姿勢が問われるものであるとの認識のもと、市民の想いを踏まえ、クラブに対し誠実かつ責任ある対応を強く求めると共に、改めてクラブハウス等の潮来市内への移転検討に反対するものであり、撤回を求めます。

令和8年4月22日

鹿嶋市長 田 口 伸 一